

企業立地パンフレットの作成について

1 企業立地パンフレット作成の経緯

東村山創生に向けた3つの柱の一つである「地方の中小企業の首都圏進出拠点形成事業」（東村山 TOKYO ポータル）を推進するにあたり、企業等へ営業活動を行う際に使用する当市の紹介やセールスポイント、施策等をまとめたツールが現在無いことから、それらをまとめたパンフレットを作成し、営業ツールとして活用していく。

2 企業立地に関する市の考え方、取り組み

◎ターゲット

- ・働き方改革の観点から、子育て等により都心へ働きに出ることが出来ない主婦層などの潜在的な労働力がある強みを活かした「ワークライフバランス」「テレワーク」「サテライトオフィス」の側面から、都心にある企業
- ・多摩エリアにおける仕事目的の人の流動量が多い県の企業
(山梨県、静岡県、茨城県、長野県、栃木県、群馬県、新潟県)

◎業種

- ・製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業 等
(市内に大きな土地は無く、大規模な工場等の立地は困難)

3 パンフレット内容案

- ・14～20ページの冊子を想定
- ・営業用ツールとして活用する他、東京都企業立地支援センターや各県の東京事務所へのご案内・設置等を検討。

〈パンフレットに掲載する項目案〉

- ①全国でも先駆的な公民連携の取り組みで一緒にまちづくりを進める環境
(公民連携地域プラットフォーム、包括施設管理委託、サウンディング手法の活用)
- ②市の未来図(鉄道連続立体交差事業、都市計画道路の整備、子育て環境等)
- ③市の環境(市へのアクセス、地理的優位性、物価的優位性、金融機関一覧など)
- ④関係団体(商工会、JA等)とのネットワーク、民間企業との包括連携協定
- ⑤市内事業者の紹介記事(地方創生交付金事業で支援をしている事業者を予定)

4 東村山市としてPRしたいこと、知ってもらいたいこと

「都市郊外型の地方創生モデル都市」



◎公民連携地域プラットフォーム

市内外の事業者が数多く参加。官民一体のまちづくり環境。

◎包括施設管理委託

民間事業者のノウハウを最大限活用し、管理業務の効率化による経費の削減。
都内26市で初の取り組み！

◎サウンディング手法の活用

民間のアイデアを取り入れつつ、より民間事業者が参加しやすい環境づくり。

全国自治体の
トップランナー！！

5 ご意見をいただきたいポイント

【市の施策、セールスポイントについて】

- ・上記の内容をPRすることが、企業立地施策の推進に繋がるかどうか。
- ・上記のPRしたいこと、知ってほしいことを伝えるために、こういった情報があるとより相手に伝えることができるか。
- ・みなさんがパンフレットを見ようと思った際に、一番重要な情報とはなんでしょうか。

【デザイン、活用方法について】

- ・みなさんが思わず手に取って見たくなるようなデザインやレイアウトはどのようなものか。
- ・こういったところに配布、もしくは設置をすると効果がある、という場所などあるか。
- ・これは良い！と感じたパンフレットなどの事例などはあるか。